

No.

12

「転倒しない生活」を実現するサービスの開発と提供

要介護度が高度化する原因の中で、転倒による骨折やそれによる生活の不活発化は、医療による予防が行き届きにくい。継続的な運動、住環境の改善、疾病・移動への配慮など、生活全般にわたるケアが必要であるため、転倒予防アセスメントと運動プログラムを整理し、総合的なサービスを開始した。



和気藹々とした雰囲気の中、自分のペースで運動ができる

企業名

有限会社ケア・プランニング

所在地 〒116-0012 東京都荒川区荒川4-9-11

電話番号 03-3805-6361

URL <http://www.best-kaigo.com>

代表者 中原修二郎

資本金 1,000万円

従業員 56人

企業紹介

平成15年設立の当社は、デイサービス、訪問介護、福祉用具レンタル、小規模多機能型居宅介護など多岐に渡るサービスを行い、地域密着型で高齢者の健康な生活を支えている。以前は台東区と荒川区に施設があったが、現在は荒川区内に集約している。

また、高齢者福祉だけでなく、スタッフは多様な働き方を選べるようになっており、子育て中のため勤務時間に限りがある看護師を正社員雇用する等、雇用の創出も行っている。平成28年度には「東京ライフ・ワーク・バランス認定企業」にも認定されている。



その人にあったプログラムをマンツーマンで提供している



マッサージサービスなど、居心地のよい環境づくり に励んでいる



入浴支援も充実している

サービス開発のポイントと課題

転倒予防のために下肢が衰えないようにするには、週2回程度の運動を継続する必要がある。そのためには、利用者が楽しんで続けられることが第一に大切である。次に、指導員を信頼し、心身を預ける気持ちになってもらわないとよい効果は期待できない。そのため、利用メニューの標準化は双方の信頼関係を築く上でとても重要な因子となった。

また、従業員同士の人間関係や施設の雰囲気が悪いと高齢者が運動に前向きに取り組めなくなる。そのため、従業員同士が「ありがとう」と言い合う仕組みづくりをする等、全社的サービス変革となる取り組みとなった。

取組みの内容

台東区にあったライブリーという施設を中心に、サービス提供のために以下の取組みを行った。なお現在、本サービスは荒川区の施設で提供している。①生活全般に対する転倒リスクアセスメント方法の開発、②転倒しない生活を実現できるための運動プログラムの開発、③転倒予防プログラムを取り入れたデイサービスのプロトタイプ店舗の開設と人員の育成、以上の3点である。身体機能の研究者や柔道整復師など専門家の意見も取り入れ、利用者の状態の正確な把握と下肢筋肉を鍛えるプログラムを整理し、有効な指導を誰もが行えるように標準化した。

今後の展望

当初はフランチャイズによって、当サービスを広げていきたいと考えていたが、高齢者福祉は法改正も頻繁であるため、現在は、興味のある同業者に広く門戸を開き、見学してもらえる環境づくりを行っている。当サービスを少しでも多くの人に知ってもらうために、行政機関を通じた情報発信も積極的に活用していきたい。

また、若い人にも介護の仕事に魅力を感じてもらえるように、介護職であっても、高齢者の運動機能訓練に参加でき、人の役に立てる喜びを実感してもらえる仕組みづくりを、さらに進めていく予定である。

● 成功のポイント ●

台東区から荒川区にライブリーを移転したとき、「このサービスがあるから、少し遠くなくても通います」と言って続けてくれた利用者がたくさんいました。当施設では、利用者4～5人に対して、スタッフが1人つくようにしています。なるべく寄り添いたいという考えからです。人件費はかかりますが、これからも施設全体で手厚いサービスを提供していきたいと思っています。

専務取締役 増田信宏氏

